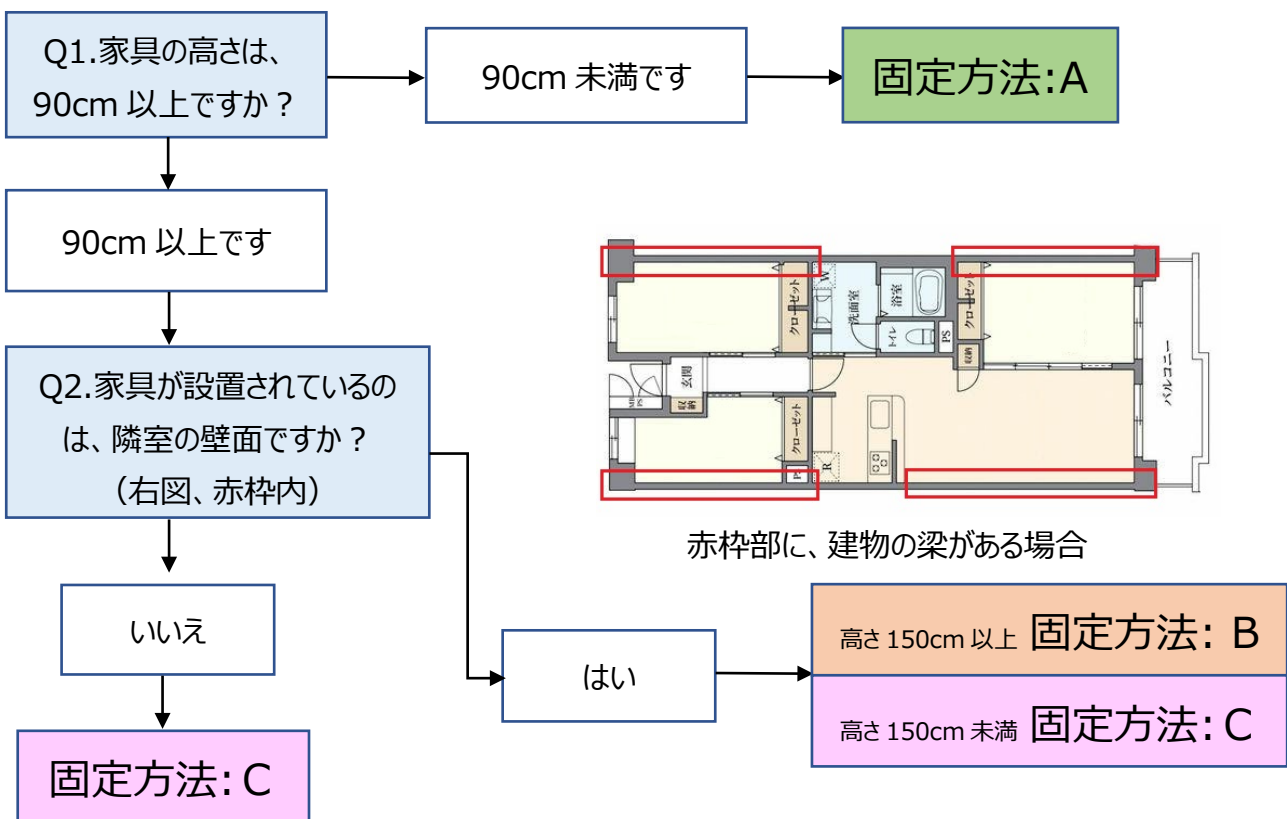





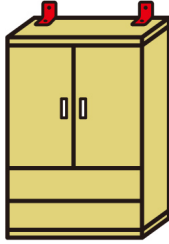
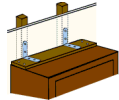
## 家具の耐震固定方法について

近年発生した大きな地震での負傷原因を調べると、30～50%が家具類の転倒・落下によるものでした。また、地震で転倒した家具の下敷きになり、圧死した例も多数報告されています。

新潟県中越沖地震発生後の柏崎市民へのアンケート調査でも、約94%の家庭で家具類の転倒・落下が発生しており、『在宅避難』をするためには、家具類の固定が非常に重要な地震対策になります。

特に寝室には、背の高い家具を置かない工夫が必要になりますが、やむを得ず家具を置く場合、必ず固定しましょう。



固定方法：A	固定方法：B	固定方法：C
<b>ストッパー式固定</b> (高さ90cm未満の家具)	<b>つっぱり棒式固定</b>	<b>L字金物式固定</b>
 <p>背面の壁に少し斜めに寄りかかるよう、手前を持ち上げる感じで設置！</p>	 <p>手前にストッパーを入れ、 梁の下面  で固定！</p>	 <p>必ず、コンクリート、または 壁の下地  に固定！</p>

【参考】 [https://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h20/09/special\\_01.html](https://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h20/09/special_01.html)

※引用

内閣府政策統括官（防災担当）

Copyright 2017 Disaster Management, Cabinet Office.

<抜粋>



地震後



南海地震を想定した揺れを加えたところ、食器棚はすべて倒れ、電子レンジやテレビなどはすべて落下  
(写真提供：防災科学技術研究所)



地震後



高さのあるタンスは転倒し、低いタンスも引き出しが飛び出している。間取りの関係で、どうしてもタンスのある和室で寝るのなら家具は必ず固定を (写真提供：防災科学技術研究所)

以上